

令和3年度 事業報告書

令和3年4月1日 から 令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人コミュニティランドスケープ

1 事業の成果

令和3年度は、前年度から引き続きコロナ禍の影響により、活動の休止・中止と廃止があり事業の選択と集中を行った。そのため、福祉共生まちづくり事業において、新型肺炎コロナ禍でも運営できる活動と新たな課題への活動を行った。コロナ禍で増加した閉じこもり高齢者対策として、豊島区高齢者福祉行政と高齢者住民が担う介護予防活動リーダーとの協働による高齢者生活支援活動コーディネーター活動を開始した。コロナ禍での高齢者の通いの場づくりと運営支援、高齢者の社会的孤立防止や単身居住に対する見守り連携づくり、独居高齢者と地域との接続支援、それらの課題解決に繋がる地域資源の開拓など、高齢者生活支援コーディネーター事業を豊島区地域包括支援センター中央圏域において行った。今後は、コーディネーターの人材育成活動、支援エリアを拡げて行く計画である。

以上

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用2,700千円)

定款に記載された事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費(千円)
福祉共生まちづくり事業	豊島区居住支援高齢者福祉モデルの構築、シェアタウン化により住民交流やコミュニケーションの活性と社会接続、高齢者生活支援コーディネーター活動事業(コロナ禍継続中にも行える事業体制の構築)	通年	豊島区巣鴨・西巣鴨・北大塚・南大塚・駒込及び、豊島区中央圏域法人事務所内外	2人	近隣住民および高齢者世帯(不特定多数)	2500
福祉共生まちづくり事業	健康長寿のまちづくりを先導する介護予防リーダー養成講座人材育成事業(コロナ禍継続中でも行える事業体制の構築)	通年	豊島区内法人事務所内外	2人	豊島区住民および高齢者	
環境共生および福祉共生まちづくりに関するメディア事業	(1) ホームページの活用推進、ホームページの情報発信性を高め、他の団体及び広く世間一般を対象として各種イベント・セミナー情報等の発信頻度を高め効率良い活用を実践する。地域活性化に資する場づくりの特徴を活かし、地域情報、商店会情報等のローカル情報を収集すると共に広く世間に発信することにより、地域及び商店街の活性化を目指すものとする。	通年	法人事務所内外	2人	会員、近隣住民(不特定多数)	100
環境共生および福祉共生まちづくりに関するメディア事業	(2) 会報誌の発行と発信 当会の活動内容を紹介し、インターネット等の情報発信以外の広報手段として年4回の発行を目指す	通年	法人事務所内外	2人	会員、近隣住民(不特定多数)	100

(2) その他の事業

(事業費の総費用 2,700 千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	事業費(千円)

法人名： 特定非営利活動法人コミュニティランドスケープ

貸借対照表

令和4年 3月 31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	2,803,855		
流動資産合計		2,803,855	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			2,803,855
II 負債の部			
1. 流動負債	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		1,999,467	
当期正味財産増減額		804,388	
正味財産合計			2,803,855
負債及び正味財産合計			2,803,855

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。

無形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定額法で償却をしています。

(2) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理

サービスの受入の内訳に記載しています。

(3) ボランティアによる役務の提供

ボランティアによる役務の提供は、「4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳」として注記しています。

(4) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	福祉共生まちづくり事業	環境教育事業	環境共生まちづくり事業	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収益						
1. 受取会費				0	0	0
2. 受取寄付金				0	0	0
3. 受取助成金等				0		0
4. 事業収益	2,728,500			2,728,500		2,728,500
5. その他収益				0	13	13
経常収益計	2,728,500	0	0	2,728,500	13	2,728,513
II 経常費用						
(1) 人件費						
給料手当						0
人件費計	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費						
租税公課				0	1,000	1,000
通信運搬費	19,406			19,406	56,174	75,580
地代家賃				0	605,000	605,000
消耗品費				0	330	330
雑費	6,700			6,700	44,544	51,244
支払手数料				0	1,562	1,562
賃借料	337,500			337,500		337,500
運営費	845,640					
図書研究費	6,269					
その他経費計	1,215,515	0	0	363,606	708,610	1,072,216
経常費用計	1,215,515	0	0	363,606	708,610	1,072,216
当期経常増減額	1,512,985	0	0	2,364,894	△ 708,597	1,656,297

3. 施設の提供等の物的サービスの受入れの内訳

施設の提供等の物的サービスの受入れの状況は以下の通りです。

(単位:円)

内 容	金 額	算 定 根 拠

4. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は()円ですが、そのうち()円は〇〇援助事業と〇〇基金事業に使用される財産です。したがって、使途の制約されていない正味財産は()円です。

(単位:円)

内 容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備 考
				0	
				0	
				0	
				0	
合 計	0	0	0	0	

5. 固定資産の増減内訳

固定資産の増減は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
車両運搬費				0		0
無形固定資産						
ソフトウェア				0		0
投資その他の資産						
C基金事業用預金				0		0
合 計	0	0	0	0	0	0

6. 借入金が増減の内訳

借入金が増減は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
		0		0

7. 役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引は以下の通りです。

(単位:円)

科 目	財務諸表に計上された金額	内役員及び近親者との取引
(活動計算書)		
地代家賃	605,000	605,000
	605,000	605,000

8. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

- ・ 事業費と管理費の按分方法
- ・ その他の事業に係る資産の状況

法人名： 特定非営利活動法人コミュニティランドスケープ

財産目録

令和4年 3月 31日現在

(単位:円)

科目・摘要	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	7,187		
ゆうちょ銀行	1,500		
JNB銀行	2,795,168		
流動資産合計		2,803,855	
2. 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			2,803,855
II 負債の部			
1. 流動負債	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			2,803,855

社員のうち10人以上の者の名簿

令和4年3月31日現在

特定非営利活動法人コミュニティランドスケープ

	氏名	
1	榎野 光路	
2	木崎 禎一	
3	田口 隆一	
4	仲本 利子	
5	榎野小百合	
6	田中 文雄	
7	加藤 忠史	
8	山崎みち代	
9	道場三位子	
10	小木曾 功	
11	下田 一正	
12		